

Contents

1. 開催報告
「第1回パパドクターフォーラム」
2. 病児・病後児保育「なのはな」
3. 次回イベント開催のご案内

1 開催報告 「第1回パパドクターフォーラム」

日時：2021年7月15日(木) 12:00～13:00 (Zoom)

令和3年度より「イクメンドクターミーティング」を「パパドクターフォーラム」に名称変更し、今回、第1回目の開催となりました。
パネリストとして、肝胆膵外科の小松昇平先生、糖尿病・内分泌内科の山本雅昭先生、司会を兼ねて循環器内科の田中秀和先生の3名にご登壇いただき、「俺の日常を聞いてくれ」というテーマのもと、医師としてご活躍されている傍ら、日々奮闘されている子育てのご様子などお話しいただきました。

●家庭で関わっている家事について

【小松先生】

男の子2人の父親です。家事は基本的に妻がしてくれていますが、洗い物や洗濯物を畳むなど私が出来る家事は積極的にするようにしています。出来ることが少ない分、出来ることは少しでもサポートできればと常日頃から考えています。

【山本先生】

3人の男児の父親です。妻も医師であり半年前から仕事に復帰しています。一番下の子がまだ1歳でお世話が必要なので、毎日の家事は分担を決めずにできる人ができる時にするという形にしています。妻が1歳の子を寝かしつける間に、洗濯や台所の片付けをすることが多いです。子どもたちのお弁当が必要な時は私が作ります。

【田中先生】

子ども4人の父親です。妻も医師としてフルタイムで勤務しています。子どもは一番上が中学3年生、一番下も小学生になり、手のかかる時期を過ぎたことで幾分楽になりました。とはいえ、6人家族は家事のボリュームも大きく、例えば洗濯は毎日3～4回、私が早起きして出勤前にこなすのがルーティンとなっています。

●海外勤務の経験から感じる子育てに対する認識の違い

【小松先生】

1年半パリに留学しました。日本では「外科医たるもの24時間365日外科医たれ」という有名な言葉がありますが、パリの外科医にそれを語った時、心底理解できないという顔をされたことが印象に残っています。仕事熱心であることが特別に評価されるわけではなく、家族と過ごす時間をとにかく大切にするという考えのもと社会が動いていることを痛感しました。

【山本先生】

2014年から5年間、アメリカのロサンゼルスで勤務しました。女性が多いラボで、子育ての相談を聞いてもらうこともありました。仕事と家庭それぞれの責務を果たすことを強く求められる環境で、仕事ばかりしていたら「悪い父親だ」と怒られてしまうので、家庭中心で仕事をするというスタイルが自然と身に付きました。

【田中先生】

2007年から3年間、アメリカ・ペンシルバニア州のピッツバーグ大学で勤務しました。朝7時からカンファレンスが始まる一方、ほとんどの人が17時には帰宅します。それくらい家族を一番に考えているため、次男の出産予定日と大きな学会の日程が重なってしまったときに、学会で発表する意欲をボスに伝えたところ「家族より仕事が大事なのか」とかなり強く怒られ、家族を優先するよう諭されたこともありました。



肝胆膵外科
小松 昇平先生



糖尿病・内分泌内科
山本 雅昭 先生



循環器内科
田中 秀和 先生

●パパドクターフォーラム登壇者より、子育て中の若い世代へ向けてメッセージ

小松先生

妻とともに子育てをしてきて感じるのは、やはり母親は偉大な存在だということです。家庭における母親の存在は本当に大きいと思います。母親が笑っている時間が長い家庭はきっと楽しい家庭だと思います。奥さんを大切にすることが、子どもへの一番の愛情表現になると思っています。奥さんを大事にしてあげてください。

山本先生

夫婦や家族の在り方は各家庭ごとに多様で良いと思います。ただ、子育ての時期は限られていて、後からやり直しができないものです。だから後悔しないように、いまの時間はもう返ってこないことを日々意識して子どもと向き合って、家族との時間を大切にしてほしいと思います。

田中先生

今日は3名の男性医師のそれぞれの話を聞いていただき、特に男性の方の中には「こんなことをしないといけないのか」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、全くその必要はありません。家庭によって事情や環境も違うので、少しでも何か取り入れられることがあれば今後の参考にさせていただければ嬉しく思います。



●参加者のみなさまからの感想（終了後のアンケートより）

- ・夫婦ともフルタイムで働きながら子育てをしていて、先輩の話を聞きたいといつも思っています。今回は男性の先生方のお話が聞けて面白かったです。今後も定期的に開催してほしいです。
- ・以前から参加したいと思っていて、今回先生方のご家庭での様子やパパの意見を色々聞いて良かったです。いま子育て中ですが、山本先生の「後悔のない育児」という言葉が胸に響き、思わず涙してしまいました。～お忙しい中でのご参加、ありがとうございました。おかげさまで大好評でした。次回もお楽しみに！～

2 病児・病後児保育「なのはな」

神戸大学の教職員、学生が養育するお子様を対象とした病児・病後児保育室です。

【場所】神戸大学はとぽっぽ保育所 横

【時間】月～金 8:00～18:00

【料金】一日3,000円（キャンセル料2,000円）
（午前のみ1,200円、午後のみ1,800円）



神戸大学 病児・病後児保育 なのはな



詳細情報は、こちらから
専用ページをご確認ください。

※事前登録が必要となります。
専用ページにてご登録ください。

3 次回イベント開催のご案内 「第3回 多職種フォーラム」 2021年9月29日(水) 12:00～13:00

職種の異なる4名にお集まりいただき「コロナ禍におけるワークライフバランス」というテーマで、コロナ禍による働き方の変化や子育ての工夫など、ご自身の体験談を中心に座談会形式でお話いただきます。



当センターHPより参加申込み受付中！

こちらのQRコードからも
お申込いただけます。



【発行】

神戸大学医学部附属病院
D&Nplus ブラッシュアップセンター

〒650-0032

神戸市兵庫区荒田町2丁目1-5 地域医療活性化センター1階

TEL 078-382-5266/FAX 078-382-5837

MAIL brushup@med.kobe-u.ac.jp

HP <http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/dn/>